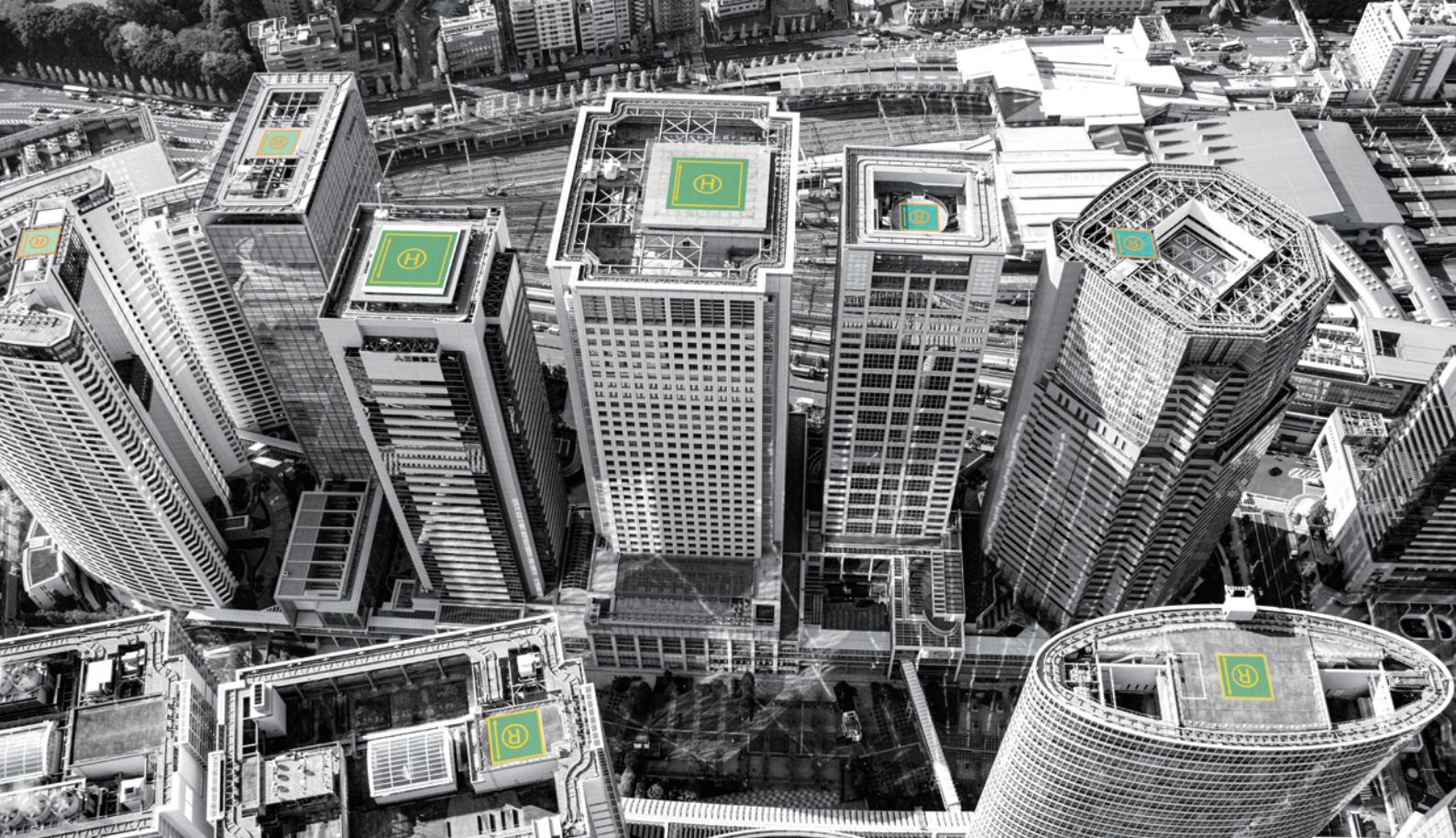




その屋上、空飛ぶクルマは降りられないかも!?

床面の強度不足

H/R マークは日常利用しない為、機体着陸時の繰り返し荷重に耐える設計になっていません。

磁界の乱れ

鉄筋コンクリートから発生する乱れた磁界が機体の磁気センサーを狂わせ、正常な運航を妨げます。

設備・動線不備

乗客をスムーズに受け入れる為の通路やエレベーター、機体充電の為の充電設備が整っていません。

HマークとRマークの違い



緊急離着陸場※

緊急離着陸場は、災害時に救助用ヘリコプターが離着陸するビル屋上の施設です。それらの多くは鉄筋コンクリート製で、「磁界の乱れ」という課題を抱えています。

※ヘリポートではありません。



緊急救助用スペース

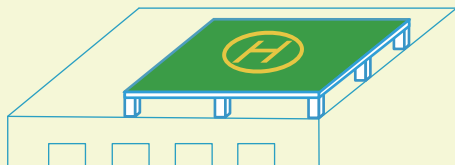
災害時に救助用ヘリコプターが、R マークの上空でホバリングを行い、避難者をホイスト装置で吊り上げて救助します。

R マークは、人が歩行できる程度の強度しかない為、救助用ヘリコプターは離着陸できません。

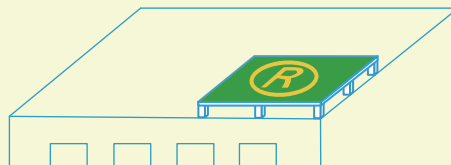


屋上の H・R マークを、V ポートとして転用可能にするには 今から準備が必要です。

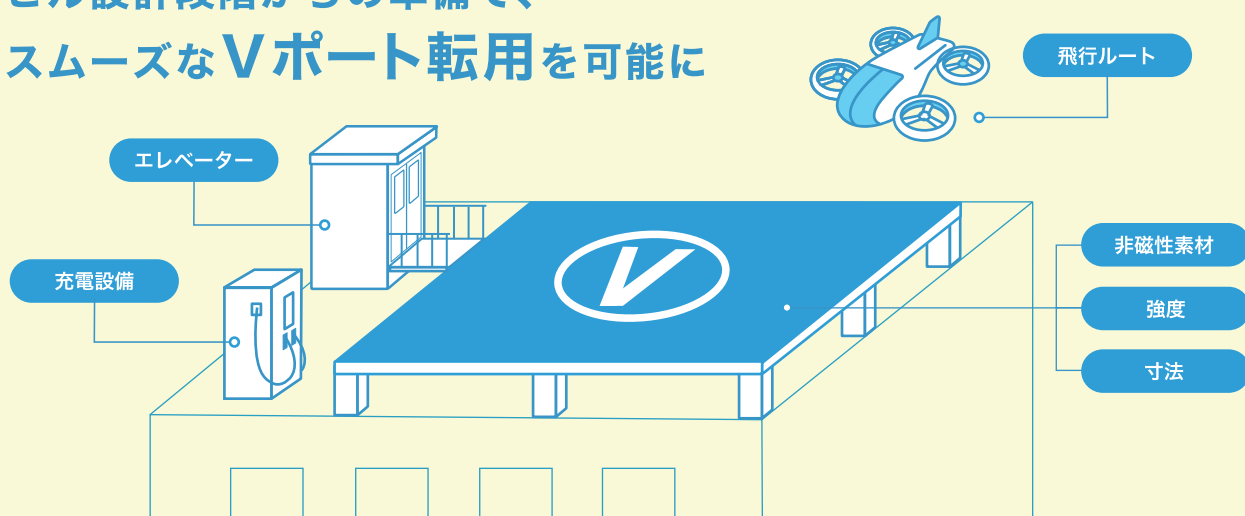
緊急離着陸場でも...



緊急救助用スペースでも...



ビル設計段階からの準備で、
スムーズな V ポート転用を可能に



法的にも技術的にも、ビルの施工後に V ポートを後付けすることは困難です。

ビルの基本設計時に、空飛ぶクルマの利用を考慮して設計しましょう。

V ポート転用のために押さえておくべき **6つ** のポイント。

ポイント 1 	寸法 V ポートに転用可能な 23m の寸法で H・R マー クを造りましょう。	ポイント 2 	飛行ルート 飛行ルートを考慮した 屋上設備の計画を立て ましょう。	ポイント 3 	動線 エレベーターの設置等、 乗客をスムーズに移動さ せるための動線を確保し ましょう。
ポイント 4 	衝撃荷重 空飛ぶクルマの繰り返し 離着陸でかかる衝撃荷重 に耐える柱や、梁、床版 で造りましょう。	ポイント 5 	充電設備 空飛ぶクルマの多くは、 充電設備が必要です。余 裕のある電力設備とス ペースを確保しましょう。	ポイント 6 	非磁性素材 床面は、磁界を発生させ ないアルミや非磁性コン クリートなどの非磁性素 材を使用しましょう。



エアロファシリティ株式会社
TEL : 03-5402-6810 www.aero.co.jp

